

登山コースについて

以前にも山の案内として、お知らせいたしました。四つのコースがあります。
参加申込書に、第2希望までお忘れなく書いてお申し込みください。

筋ヶ岳コース (ハードコース)

山頂まで日陰が少ないので、飲み物を充分用意しましょう。

登山口駐車場から七分で登山口である。植林帯の中をジグザクに登ると直ぐに明るい尾根筋の直登路となる。真砂ですべりやすい急登である。グイグイと高度を稼ぎ、日陰の尾根に変わると、八合目付近で右に水平な道が分岐する。右はクサリ場コースである。左に登ると巻き道もある。クサリ場は、一のクサリ、二のクサリ、三のクサリがあるが、この度は、二のクサリ場(垂直に10メートルばかりの岩場)、三のクサリ場(約60度の傾斜で70メートルばかり、最後はほぼ傾斜80度近くが10メートルばかり)のどちらかのクサリ場をどちらか一方選んで登ることになる。

ハードコース希望者は、原則として、第一回目か、第二回目の下見に一回は参加して体験した者に限らせていただきます。クサリ場の所は、山口県山岳会と山口勤労者山岳連盟のベテランの方が、サポートをします。ヘルメットや、ハーネス、命綱など着けて登ります。クサリ場を登るのに一人につき10分~20分かかると予想されます。出発をできるだけ早くしたいと考えています。そのため、第一便で出発するチームは、朝食を弁当にしたらと検討中です。頂上までクサリ場体験を入れて、約二時間

白石山コース

風化花崗岩がつくりあげた風景が驚異的である。特に九合目の展望一枚岩と山住坊という、行者が住んで修行したという大岩窟などは、他では類を見ない造形である。県道26号線(山口鹿野線)引谷の夏焼中地区にある白石口バス停から徒歩開始である。道標にしたがってアプローチ10分で登山口である。案内板に従って右(正面)の道を行き、谷筋から尾根に取り付き左にとる。尾根筋の道が左斜面を巻き、尾根を横切り、左斜面を巻いて進むようになると右に大岩への道が分岐する。大岩は近いので時間があれば立ち寄ってみよう。ルートに戻り左斜面のトラバースを続ける。ルート脇には巨岩が次々と現れ、それぞれに名前がある。尾根を二回横切ると左にみちが一本下がっている。これは下山時に利用する道である。道なりに右にまがって谷を登ると、苔むした巨岩群の不思議な空間に着く。登山口から一時間二十分ぐらいの地点である。木彫りの白石観音を祀る観音岩、数十人も入れる巨岩の窟(接待岩)では水も沸いており、宿営も可能である。すぐ上の尾根の物見岩からは、蕎麦ヶ岳、真田ヶ岳、大平山、金峰山など東面の風景が大きくひらける。さらに尾根を西にたどって二十分で三等三角点の白石山山頂である。物見岩から見えなかった西面が開け、龍門岳、高羽ヶ岳、十種ヶ峰の姿がよい。下山は引き返して(下山口引き廻し川方面)の道標にしたがって右下に下る。すぐに急勾配となり、面白い。七間岩、こうもり岩、船岩など巨岩が名前を連ね道なりに下ると林道に出て川を渡る。車道の交差点は左にとり、農作業の物置小屋を右に見送ると右上に道が分かれている。これをとれば登山口である。登山道も整備され変化に富んだ比較的登り安い山である。

日暮ヶ岳コース

標高は694mあり、自然の家から約2.3kmの道のりで約330mの高さを登ります。

山の周辺には、多目的ダムの大原湖、長者が原火山台地、滑山国有林など多彩な自然を見ることができます。全国で六ヶ所の、森林セラピー基地として平成18年4月に認定を受けています。癒しの森の体験も森林セラピーの方の案内ですることができます。自然の家に帰着後、石風呂体験もできる予定です。

周辺散策コース

自然の家の周辺を散策します。自然が豊かなとても歩き安いコースです。この森林の一角は森林セラピー基地として認定を受けています。全国から沢山の人が癒しの森の体験におとずれています。森林セラピーの方の案内で癒しの森の体験もします。自然の家に帰着後石風呂体験もできます。

交流会について

四つの交流会があります。忘れず第二希望までお知らせください。

歌のチーム

「わたぼうし」という名前のボランティアグループと、オカリナの演奏グループにも参加していただきます。昔懐かしい歌を中心に一緒に歌います。点字の歌詞本も用意します。

参加者のうち、特に紹介したい歌などありましたら、各自で紹介できるよう準備くださると幸いです。

レク、ホークダンスチーム

皆と、ゲームや、フォークダンスをして、楽しいひと時を過ごしたいと思います。

動的、静的なレク、ゲームと、フォークダンスを考えています。この方も格別、紹介したいものがありましたら、準備してください、と同時に事前に内容を知らせていただくと幸いです。

話し合いチーム

全国交流登山大会も11回目を迎えましたが、継続して行くことになる、なかなか大変なのが事情です。国体みたいに市民権を得ているわけではありません故、全て受益者負担、手弁当で動くのが原則と言った所です。各団体の現状、問題点を話し合いながら、どうすればいいのか、自分の問題として話し合いたいものです。

研修（手引きの方法、救急法）チーム

手引きの方法もこれが唯一というものはないかと思いますが、より相手にとっても、自分にとっても好ましい方法があるのか、これまでの経験、体験をもとに探っていきたいものです。又、捻挫、虫さされ、家庭看護的な身近な救急法を勉強しましょう。

救急法は日本赤十字、救急法指導員があたります。

お知らせとお願い

以前、参加費を一万円ぐらいとお知らせしていましたが、物価高な折、今よりもっと値上げも予想されますが、今現在の所、必要経費を一人当りで割った所、一万円では不足になりそうです。初め参加人数が300名位と考えていたのですが予定より少なくなると、もっと負担が増えそうです。

参加費を24日（金）～26日（日）まで2泊3日の方は、一人 10700円

25日（土）～26日（日）まで1泊2日の方は9600円にさせていただきます。ご了承ください。

全国大会の参加申込書を、8月30日（土）までに、厳守でお願いします。

沢山の方々のご参加を、お待ちしております。